

歯止めがかかった中国の景気鈍化

ポイント① 3月の経済指標が上昇

最近発表された中国の経済指標は、中国の政府、中央銀行の景気対策が功を奏し、景気鈍化に歯止めがかかったことを示唆しているようです。2019年1-3月期の実質GDP(国内総生産)は前年同期比+6.4%と事前の市場予想(+6.3%)を上回って2018年10-12月期と同じ伸びとなりました。さらに、図1が示すように、3月には鉱工業生産指数や小売売上が1、2月(旧正月の影響をならすため、1、2月の平均値を発表)の伸びを大きく上回りました。

ポイント② 輸出反発の一方、輸入減が続く

貿易面では、中国の輸出は図2が示すように3月には前年同月比+14.2%と2月の▲20.7%から急反発しました。旧正月や米中貿易摩擦の影響で振れが大きくなっている面はありますが、輸出の回復が中国経済にプラスであることは間違いありません。

一方、輸入は▲7.6%と2月の▲5.2%を下回り、4か月連続で前年同月比で減少しました。これまで中国国内で在庫が蓄積していたため、すぐには輸入が増えないのかもしれませんが、また、中国の景気対策は国内の生産、雇用の確保を狙ったもので、できるだけ需要の増大が輸入に逃げにくい形をとっているということも考えられます。

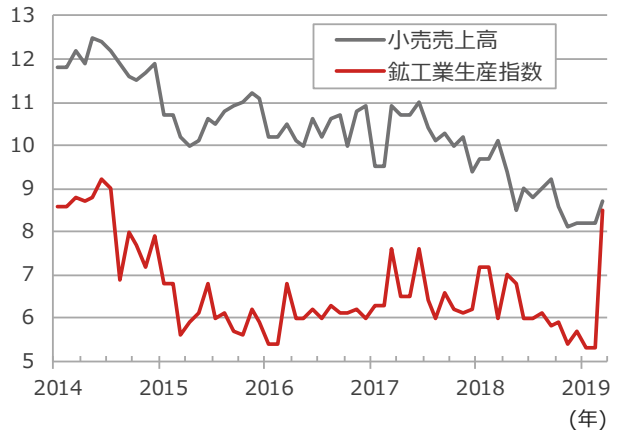
ポイント③ 注目される他地域への波及効果

中国の輸入額は米国に次いで世界第2位であり(2018年データに基づく。輸出額は1位)、その動向は世界全体の景気にとって極めて重要です。中国国内の景気回復が輸入の増大に結びつくことで、中国の景気刺激策が日本や他地域へ波及するかどうか、注目されます。

図1：中国の鉱工業生産指数と小売売上高

期間：2014年1月～2019年3月、月次

(前年同月比、%)



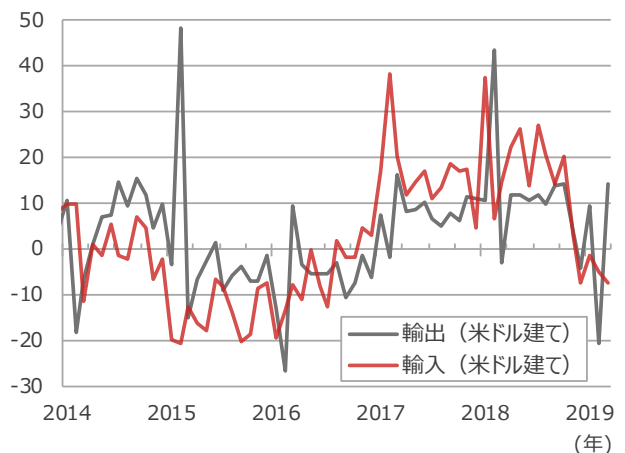
(注) 1、2月分は、旧正月の影響をならすために発表される1、2月の平均値で表示。

(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：中国の輸出入額

期間：2014年1月～2019年3月、月次

(前年同月比、%)



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

5月8日
5月12日頃

中国 貿易統計(4月)
中国 社会資金調達金額
(4月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。